

# 健康経営 戦略マップ

## 健康投資

様々な効果に関連する健康投資

健康診断の実施

産業保健職によるサポート

健康保険組合とのコラボヘルス

職場コミュニケーションの充実

ワークライフバランス充実  
働き方改革

### からだの健康

産業保健職による保健指導  
(食事、運動、禁煙、  
飲酒、睡眠)の実施

健康増進に係る  
セミナー等の開催

全社大のイベントの開催

健康増進アプリの活用

### こころの健康

メンタルヘルス改善・予防に  
向けた教育の実施

ストレスチェックの受検促進

ストレスチェック  
集団分析結果の活用

### 働き方

長時間労働抑制  
に関する施策の実施

休暇取得促進  
に関する施策の実施

## 健康投資施策の 取組状況に関する指標

実施率の向上

実施回数の増加  
参加者数の増加

参加率、満足度  
の向上

導入率、利用率  
満足度の向上

実施回数の増加  
参加者数の増加

受検率の向上

職場環境改善活動  
実施率(100%)維持

労働基準法時間外  
労働時間の減少

有給休暇  
取得日数の増加

## 健康投資効果

### 従業員等の意識・行動 変容に関する指標

健康意識向上

夕食を21時前に  
食べる人の割合増加

運動習慣がある人の  
割合増加

喫煙率の低下

1日平均2合以上飲酒  
する者の割合低下

睡眠により十分な休養  
をとれた者の割合増加

高ストレス者割合  
減少

総実労働時間の  
減少

### 健康関連の 最終的な目標指標

健康リスクの低減

〔主要な項目の  
有所見率の低下、  
改善者率の増加〕

生産性の向上  
〔プレゼンティーズム  
アブセンティーズム  
エンゲージメント〕  
+  
仕事満足度向上

総合健康リスクの  
低減

## 健康経営で解決したい 経営課題

継続的な  
企業価値向上  
および  
地域への貢献

従業員一人ひとりが  
健康でイキイキと働く  
元気な会社の実現

従業員の  
ウェルビーイング向上

# 2024年度 健康推進基本方針

当社は、従業員の健康維持・増進を経営課題と位置づけ、東北電力グループ健康経営宣言に基づき、「健康と安全は何事にも優先する」という考え方のもと、「従業員一人ひとりが健康でイキイキと働く元気な会社」を目指していきます。

その実現には、「からだ」と「こころ」両面にわたる健康づくりおよび疾病予防に向けた取組みを推進し健康リスクの低減を図るとともに、従業員一人ひとりのヘルスリテラシー向上を支援し健康に関する自己管理の定着を図ることが重要です。

このような考えのもと、2024年度は、喫煙、過量飲酒、運動不足などの生活習慣に起因する健康リスクの高まりやメンタル不調者の増加を踏まえて、従業員の健康維持・増進に向けて、健康経営戦略マップに基づき、健康関連指標の目標値を設定のうえ、東北電力健康保険組合と連携（コラボヘルス）し、以下の取組みを展開していきます。

## 【 従業員の健康維持・増進に向けた取組み事項 】

### **I. からだの健康**

生活習慣の改善を多面的に支援し、有所見率と中長期的な健康リスクの低減等を図る。

1. 禁煙の推進と受動喫煙防止の徹底
2. アルコールによる健康障害の低減
3. 健康的で規則正しい食生活の定着
4. 適度な運動習慣の定着
5. 良質かつ十分な睡眠の確保
6. がんおよび感染症対策の推進
7. 気候変動に伴う熱中症等対策の推進

### **II. こころの健康**

メンタルヘルス対策を強化し、メンタルヘルス不調の未然防止と組織健康度の向上を図る。

1. 従業員自身によるセルフケアの充実
2. 管理職によるラインケアの強化
3. ストレスチェックの活用による職場環境の改善
4. 長時間労働による健康障害の防止

### **III. ヘルスリテラシー向上**

従業員一人ひとり、職場それぞれが自ら考え行動する自律的健康管理の定着を図る。

1. 産業保健職による保健指導と受診勧奨の実施
2. 健康増進アプリの積極的な利用促進
3. 新入社員・若年層の健康づくり支援
4. 多様な従業員が働きやすい職場環境づくり